

## 第30回国立国会図書館関西館資料展示を開催します 「巨大書庫には何がある？—関西館資料展示を振り返る—」 (9/22-10/18)

国立国会図書館関西館は、20年前の2002年10月に開館しました。また、2009年から定期開催を始めた関西館の資料展示は今回で30回を数えます。

開館20周年と資料展示30回という二つの節目を迎えるにあたり、これまでの資料展示で出展した約2,500点から、見どころとされた資料やアジア言語資料、博士論文などの特色ある資料を中心に選抜した約180点を展示します。

また、関連展示として、1995～1996年度にかけて実施された関西館建築設計競技の受賞作の一部分（完成予想図など）も展示します。



### ○概要

開催期間：令和4年9月22日（木）～10月18日（火）（日曜・祝日は休館）

開催時間：午前9時30分～午後6時

展示資料数：約180点

会場：国立国会図書館関西館 閲覧室（地下1階）、大会議室（地下1階）  
（〒619-0287 京都府相楽郡精華町精華台8-1-3）

入場：無料・年齢制限なし（18歳未満の方は所定の手続の上でご覧いただけます。）

問合せ先：国立国会図書館関西館 資料案内（電話：0774-98-1341）

URL：[https://www.ndl.go.jp/jp/event/exhibitions/kansai\\_202209.html](https://www.ndl.go.jp/jp/event/exhibitions/kansai_202209.html)

※ 開催予定が変更になる場合があります。ご来館前には、最新情報を上記ページなどでご確認ください。また、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、入館時の検温・マスクの着用・手指消毒にご協力ください。

○展示資料例

第 19 回「おそれと祈り—まじないのかたち—」から

『起上小法師画集 第 1-12 集』川崎巨泉 画, 木戸忠太郎 編. 大正 13-14 年【414-20】

堺市の郷土玩具画家である川崎巨泉による起上小法師（おきあがりこぼし）の画集です。起上小法師とは、何度倒しても起き上がることから「七転び八起き」の精神を表すとされている人形です。だるま以外にも、キューピーや童子、中国の翁、桃をもった猿などがユーモラスに描かれています。



第 25 回「人体ワンダーランド～からだをめぐる冒険いまむかし～」から

『体操図：文部省正定』師範学校 [編], 浜田県, [明治-]【特 53-833】

体操は心身の健康に寄与するものとして、明治期に学校教育に取り入れられました。「文部省正定」と付けられた本書は、師範学校で編纂され、小学校の教材として使われたと推測されています。さまざまな体操の方法が図を用いて平易に示されており、初期の体操教育の一端を知ることができます。



\* 【 】は当館請求記号

○撮影について

開催期間中（土曜日、日曜日、祝日を除く。）は午前 9 時から午後 7 時まで撮影が可能です。ただし、来場者がいる午前 9 時 30 分から午後 6 時の間は、来場者の撮影、周囲に聞こえるような音声を伴う撮影、大人数による撮影等をご遠慮いただく場合があります。なお、照明器具を使用する撮影はできません。撮影をご希望の場合は、来館前にご連絡ください。

○問合せ先

展示内容について：国立国会図書館関西館 資料展示班 伊藤（電話：0774-98-1392）

取材申込み：国立国会図書館関西館 総務課総務係（電話：0774-98-1225）

※2 ページ目に掲載した画像は当展示会の広報の目的でお渡しすることができます。  
画像掲載の際には書誌情報及び当館所蔵であることを明記してください。